

2017年度第7回役員会議事概要

日時 2018年2月21日(水) 19:00~21:50

場所 まるいクリニック デイケア

出席) 泉 大石 金井 斉藤 下村 竹林 知名 西村 東森 平山 服田 松本 宮崎 欠席)

司会) 大石 書記) 斉藤

1) 事業

報告

○1月例会(日本精神保健福祉士協会京都府支部協力研修)

日時 2018年1月28日(日) 14:00~17:00 会場 キャンパスプラザ京都 2階第1会議室

テーマ 「地域包括ケアから社会変革への道程~精神保健福祉士のソーシャルアクションとは~」

講師 中島康晴氏(NPO法人地域の絆 代表理事、日本社会福祉士会 副会長)

参加者 38名

アンケートの内容から、「講演・グループワークでも身になる話しができた。」「講師も実践に基づいた話してよかった。」など好評だった。

○2月例会

日時 2月10日(土) 14時~16時

テーマ 洛南病院見学会 参加者 18名

内容) 洛南病院の概要説明後に病棟見学をし、その後グループワークを行った。運営上、アンケートは用意が出来ていなかった。謝礼は公立病院のため受取ができないということで、お礼のお菓子を持参した。

予定

○倫理委員会

日時 2月28日(水) 19:00~20:30 場所 ハートピア京都 第3会議室

○フォローアップ研修

日時 2018年3月3日(土) 13:30~16:30

会場 京都市子育て支援総合センター こどもみらい館 第一研修室 B(4階)

講師 村本 詔司 先生(神戸市外国語大学 名誉教授)

○世界ソーシャルワークデー 特別企画2018(京都社会福祉士会、京都医療ソーシャルワーカー協会)

テーマ 「ジェネラリストソーシャルワークを意識した実践をしていますか？」

日時 2018年3月15日(木) 19:00~21:00 会場 キャンパスプラザ2階第1会議室

講師 福富 昌城 氏(花園大学教授・京都社会福祉士会会長)

2) 対外関係

報告

○第9回京都市自立支援協議会「権利擁護部会」 担当 西村(2017年度としては3回目)

日時 2018年2月16日

議題

1) 障害者差別解消支援地域協議会

- ・差別に関する相談対応事例及び事例を踏まえた取組について

2) 権利擁護に関する課題とその解決方法について(成年後見制度について)

- ・知的障害家族団体(育成会と親の会)より家族団体による法人後見を可能にしてほしい。親とすれば安心。
- ・後見制度利用促進に関する法律により利用促進計画を自治体が立案することになっている。後見人不足は課題となっており市民後見や社会福祉法人等後見人育成の方向へ。これまでは難しかった後見人の交代も柔軟に対応可となる予定。
- ・後見制度利用のリスクとその補償するものはあるのか。
- ・後見人報酬について

○京都社会福祉専門職団体のとりくみ

1) ソーシャルワークデイ 特別企画 担当 西村 泉

「ジェネラリストソーシャルワークを意識した実践をしていますか？」

日時 2018年3月15日(木) 19:00~21:00 会場 キャンパスプラザ2階第1会議室

講師 福富 昌城 氏(花園大学教授・京都社会福祉士会会長)

→近日中にチラシが確定する。

2) 2018年度 ソーシャルワーカーデイ恒例イベント

日時 2018年7月 候補日 21日22日27日28日 会場 ゼスト御池

内容) 出店・相談ほか

○平成29年度京都市精神保健福祉審議会 出席 知名

日時 2018年1月18日

内容) ①精神障害のある方の就労支援

②精神障害者地域移行・地域定着についての京都市の支援概要

①については、職場定着支援の有用性と、2018年4月から総合支援法改正により「就労定着支援」が創設されること、及びこころの健康増進センターデイケア課の就労支援への取組みが具体的に報告され、

②では、支援センター「なごやか」から、移行・定着支援の普及啓発の取組みやピアサポートの活動状況の報告がなされた。

○障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会 第51回定例会 担当 齊藤 →欠席

日時 2018年2月6日(火) 13:30~16:00 場所 京都市多文化交流ネットワークセンター 大ホール

主な議題)

・京都デザインフォーラムの総括・京都府、京都府議会との懇談報告・学習会のあり方、テーマについてなど

○新・生存権裁判を支援する会 担当 泉

1) 1月17日(水) 18:00~ 街頭宣伝@阪急西院駅前

2) 1月21日(日) 14:00~16:00 「生活保護改悪に反対する人々の会」による署名活動、ビラ配り、募金@東寺東門交番の横周辺

3) 1月23日(火) 13:30~ 第12回期日@京都地方裁判所

→原告が調子を崩し陳述はなかった。奈良県の弁護士が弁論された。傍聴席は満員だった。

4) 1月25日(木) 18:30~ 「願いはふつうに暮らすこと~なのに、また生活保護基準引き下げ?!」

@エルおおさか 主催: 「引き下げアカン! 大阪の会(生活保護基準引き下げ違憲訴訟を支える大阪の会)」と反貧困ネットワーク大阪

予定

○平成29年度地域福祉権利擁護事業に係る関係機関・団体との情報・連絡会議

日時 2018年3月2日(金) 13:30~15:45 場所 こどもみらい館 4階 第1研修室

○新・生存権裁判を支援する会

第13回期日

日時 2018年4月20日(火) 13:30~ 場所 京都地方裁判所(13:00に京都地裁ロビーに集合)

3) 各部より

□研修部

来年の基幹研修Ⅰの場所がハートピア京都の確保ができず、国際交流会館になるかもしれない。
基幹研修Ⅱについては明日の会合で準備内容を詰める。

□通信情報部

きょうと通信委員会

特になし

HP委員会

特になし

□権利擁護委員会

日時 2018年1月18日(木) 19:00~21:00 場所 つばき医院 参加者 5名

内容) 意思決定支援の導入に向けて日本精神科病院協会によるアドボケーターガイドラインがまとめられているが、このガイドラインに対する評価を行う必要があるのではないかと。(大阪精神医療人権センターは反対表明を出している。)精神医療審査会の現状について語る場を一度委員会でつくってはどうか。

次回 2月22日

□障害者福祉制度委員会

特になし

□倫理について考える委員会

日時 2018年1月30日(火) 19:00~21:15 会場 安東医院 参加者 5名

内容) 1. フォローアップ研修に向けての提出事例の読み込みと検討

フォローアップ研修で提出された事例を委員で確認。研修時のグループディスカッションでの取り扱う事例について協議した。

日時 2018年2月13日 19:00~21:15 会場 安東医院 参加者 5名

内容) 1. フォローアップ研修に向けての提出事例読み込みと検討

フォローアップ研修で提出された事例を委員で確認。研修時のグループディスカッションでの取り扱う事例について協議した。提出された事例のエッセンスを取り入れて加工事例を作成する。次回委員会にて最終確認、当日の役割分担、グループディスカッションでのポイントを確認。

※次回の委員会の予定

・2月20日(火) 19:00~ 安東医院にて

□ソーシャルワーカー育成検討委員会

活動なし

□心神喪失者等医療観察法学習会

1月は大雪により中止

□京都府支部担当

★運営会議開催

日時 2月14日 19:00~ 場所: ジョイントほっと 出席者: 9名

- ・1月28日の協力研修ふりかえり
- ・近畿ブロック会議(2/18開催予定)に向けて意見集約
- ・代議員代表メールについての共有(代議員へ意見が届かない状況がある。メールを試行的に開始)
- ・来年度に向けてのタイムスケジュールの整理(支部総会6月9日)
- ・次回4月4日開催予定

★近畿ブロック会議

日時 2018年2月18日 13:15~ 場所: ハービス大阪 出席 2名

1) 協議事項(意見聴取等を含む)

(1) 組織強化・災害支援体制整備に関する件(組織強化・災害支援体制整備委員会)

(2) 2018年度事業計画及び収支予算に関する件

→(支部活動協力費の使途として構成員数増加のために都道府県協会会員が入会する際の費用を補助しているという支部もあった。)

- (3) 生活保護基準額の引き下げに係る本協会の対応等に関する件
→ (各都道府県の議員に陳情を上げるような対応をお願いされた。)
- (4) 2020年度及び2021年度役員選出時以降のブロック選出理事枠及び常任理事会の廃止に関する件
- (5) 2020年度からのブロック代表支部長制(仮称)の導入に関する件

2) 報告事項(質疑応答を含む)

- (1) 2018年度研修スケジュールに関する件
- (2) 精神保健福祉法の改正に係る本協会の対応等について
- (3) 就労継続支援A型事業所の閉鎖等の問題への対応について

□災害支援検討委員会

日時 2018年2月9日 場所 なごやかサロン 参加者 6名

内容) 来年度開催予定の災害研修について

日時 7月上旬 14時~17時で調整 →研修は7月7日14:00~で決定 キャンパスプラザ

講師 後藤至功先生(佛教大学)

内容 講義後、グループワークを通して、日ごろの実践が災害時のソーシャルワークといかに繋がるのかを意識化する作業を行う予定

□事務局

入会審査 対象者なし

退会審査 2名 →了承

会員数 1月17日現在 348名→2月21日現在 346名

□会計

決算と予算について →年度内の支出の連絡は迅速にお願いします。

2名の過払い金について、返金をする為事務局から連絡を行う。

4 その他(審議事項)

対外関係

○2018年度 ソーシャルワーカーデイ恒例イベント

日時 2018年7月 候補日 21日 22日 28日 29日 会場 ゼスト御池

内容) 出店・相談ほか 場所 寺町広場

※夏のイベントについてはまだ最初の会議もなくどのような内容や運営になるかはわからない。いずれにしても担当者を決めておいたほうがよいと思う。

場所代や配布物等費用について次年度予算建ては必要。作業所などの出店があると賑やかにはなる。但し、出店料、駐車場代とか、物販内容はどうするのか当検討がいる。窓口は現在、西村 泉 担当しているが、出店等などを検討するならば事業所の方も参加してもらう方がよい。→担当 下村 大石が加わる。

○相模原殺傷事件2年企画について

今年度実施した主催者より実行委員会への参加呼びかけを個別にいただいているが日程的に参加できていない。開催費用のカンパ等を求められる可能性はあるので、予算上の配慮は必要。

事業・各部より

○2018年度総会記念講演会のテーマ/講師について(日程 2018年5月27日)

前回までの候補

- 1) 玉木 幸則氏(西宮市)、2) 竹端 寛氏(山梨学院大)、3) 藤田 孝典氏(埼玉 貧困)

→この上記3名までは 金井さんにアプローチしてもらい、その後記念講演会の具体的な担当を決める。

→佐々木 理恵氏、会員より意見をいただいた小笠原 春野氏は今回見送る。

※依頼するとしてテーマをどうするか。

昨年の自立支援協議会での講演は優生思想から幅広く話していた。地域包括ケアという流れで、子どもから高齢の方などどう共生していけるのか。ソーシャルワーカーへの感じていることは、どういったことがあるのか。

ノーマライゼーションからインクルージョンという流れをどのように捉えているのか当事者であり、ワーカーの役割もありながら、共生社会と言われている中でどのように考えているのか。

→地域包括ケア、権利条約、社会的排除（優生思想）、共生社会 をソーシャルワーカーに向けてメッセージをという依頼。

○個人情報保護に関して

規約の改正がないよう規定のあり方を検討している。改めてメールで役員会からの意見を求めていく。名簿の配布については、必要かどうか会員へアンケートを実施する。

○近畿2府4県 近畿ブロック研修会について

次年度に実施する方向は変更なし。大阪協会が今実施要綱を作成中。開催は次年度秋ぐらいを予定。

研修部で担当者を（2名もしくはそれ以上）決めて欲しい。この点は要綱に反映するよう意見していく。

次年度予算 5万円を計上して欲しい。その他、担当委員の交通費も計上して欲しい。

その他

○次期事務局・役員体制について（継続審議）

役員の辞任の申し出と担当委員会の取り扱いについて

1名 育休に入る為で辞任の意向。担当委員会には役員2名が所属しているが、現時点の他の役割での負担が大きいため、参加している委員に役割をお願いする方がよいのではないかと。

→委員会の世話役を委員の方をお願いをする方向で調整していく。

○会員の方より

会員自身の取り組み（個人事業）を、例会等出取り上げてもらえるかということだが、現時点では会員にこうした活動への関心がある等のニーズの確認が出来ていないので、実施は難しい。

○再掲）年度末に向けて（確認）

各委員の事業報告および事業計画の提出、会費の未納の方への声かけ、次年度委員さんの確定を依頼

※災害支援計画（案）の確定について

今年度総会時会員に向けて提示し意見募集中である。次年度総会で一旦確定の報告後、日本協会へ提出予定。

次回役員会 3月14日